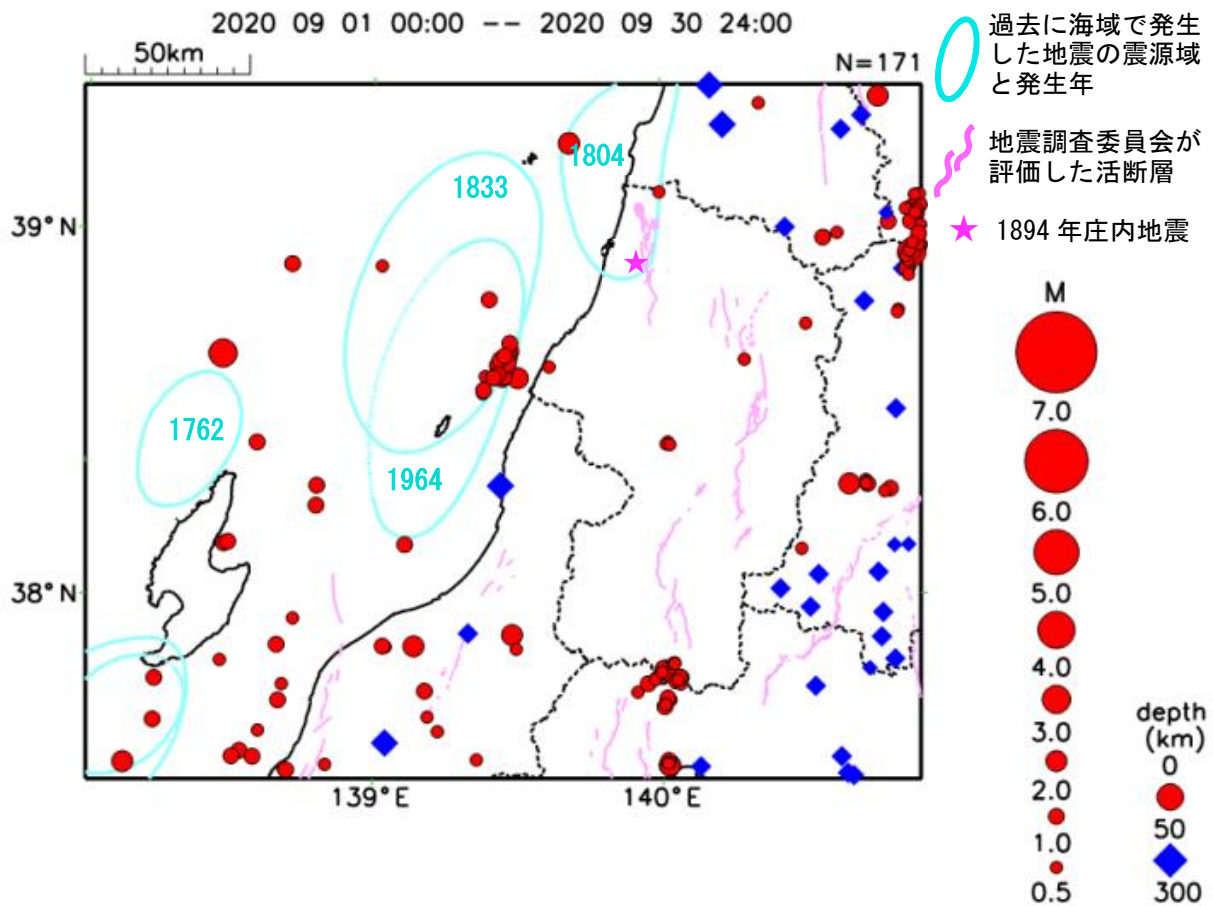


山形県月間地震概況（2020年9月）

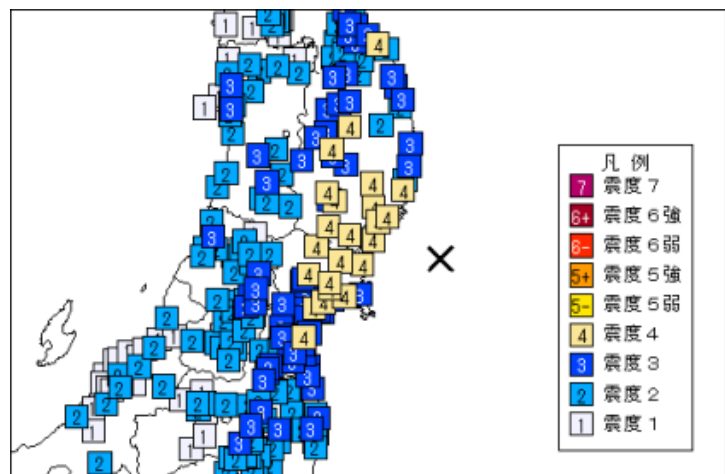
山形地方気象台



【概況】

この期間、山形県とその周辺（上図の範囲内）で観測した地震は171回であった。また期間中に県内で震度1以上を観測した地震は5回（前期間1回）であった。

12日11時44分に宮城県沖の深さ43kmでM6.2の地震（右図）が発生し、青森県、岩手県、宮城県で震度4を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度3～1を観測した。県内では、酒田市、村山市、天童市などで震度3を観測したほか、広い範囲で震度2を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

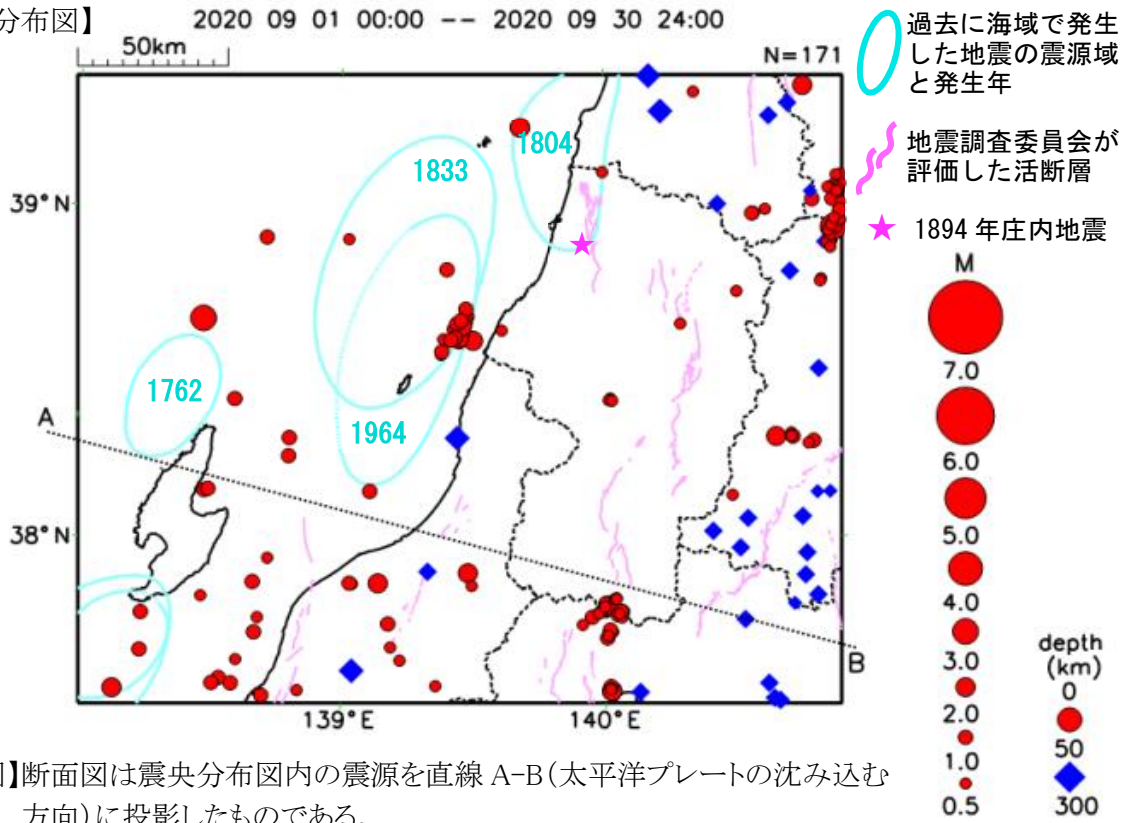


12日11時44分に宮城県沖で発生した地震(M6.2)の震央(X)と市町村別震度

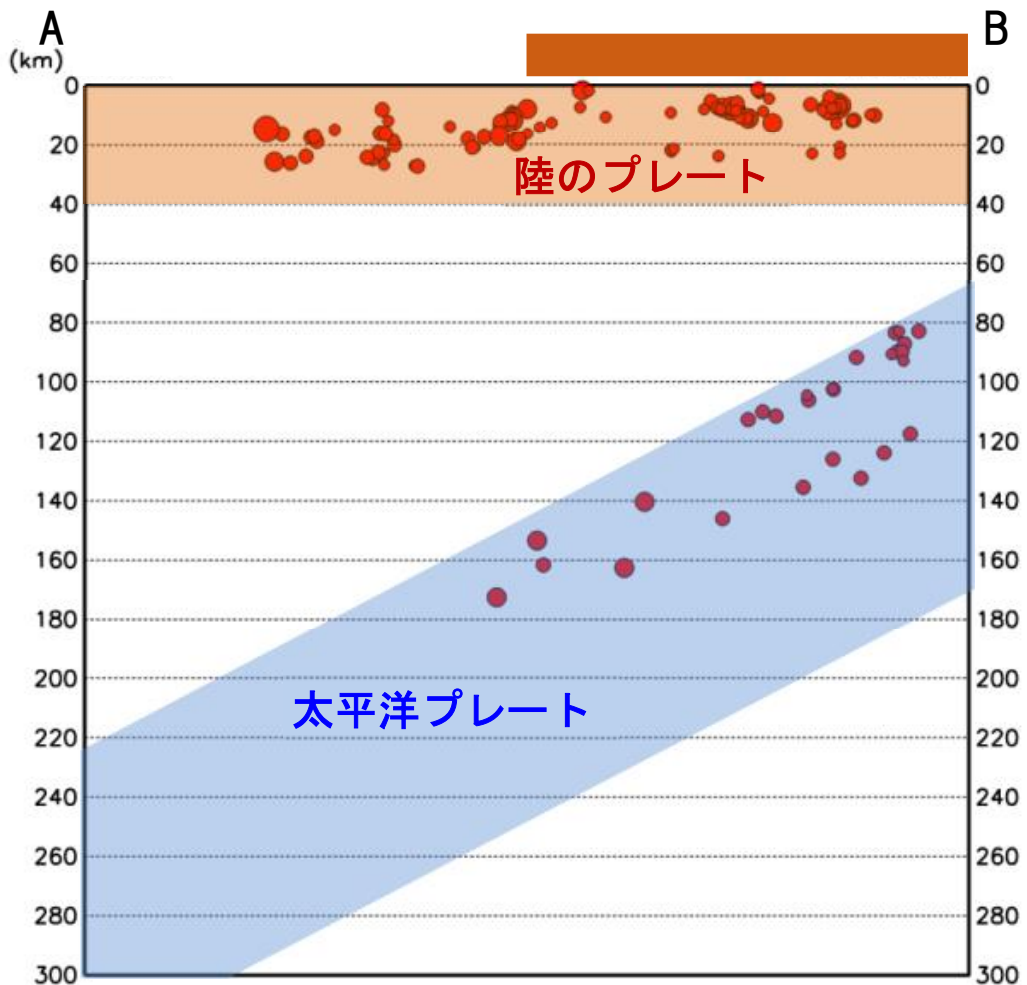
※本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

※山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお震源要素等は、再調査により変更することがある。


【震央分布図】



【断面図】断面図は震央分布図内の震源を直線 A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※  は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

山形県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2020年9月1日～2020年9月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2020年09月04日06時45分	福島県沖	37° 07.0' N	142° 25.0' E	17km	M5.3
山形県	震度 1 : 米沢市林泉寺* 高島町高島*				
2020年09月07日06時33分	茨城県沖	36° 41.2' N	141° 28.6' E	38km	M5.2
山形県	震度 2 : 米沢市アルカディア 米沢市林泉寺*				
	震度 1 : 庄内町狩川* 上山市河崎* 天童市老野森* 東根市中央* 山辺町緑ヶ丘* 中山町長崎* 河北町谷地 西川町大井沢* 米沢市駅前 米沢市金池* 南陽市三間通* 高島町高島* 山形川西町上小松* 白鷹町荒砥*				
2020年09月12日11時44分	宮城県沖	38° 43.3' N	142° 16.2' E	43km	M6.2
山形県	震度 3 : 酒田市飛鳥* 酒田市山田* 村山市中央* 天童市老野森* 中山町長崎* 河北町谷地 尾花沢市若葉町*				
	震度 2 : 鶴岡市馬場町 鶴岡市温海川 鶴岡市道田町* 鶴岡市藤島* 酒田市亀ヶ崎 酒田市宮野浦* 酒田市観音寺* 酒田市本町* 三川町横山* 遊佐町遊佐 遊佐町舞鶴* 庄内町狩川* 庄内町余目* 新庄市東谷地田町 新庄市堀端町* 新庄市住吉町* 最上町向町* 舟形町舟形* 真室川町新町* 大蔵村肘折* 大蔵村清水* 鮭川村佐渡* 戸沢村古口* 山形市緑町 山形市薬師町* 寒河江市西根* 寒河江市中央* 上山市河崎* 東根市中央* 山辺町緑ヶ丘* 河北町役場* 西川町大井沢* 西川町海味* 山形朝日町宮宿* 大江町左沢* 大石町緑町* 米沢市駅前 米沢市アルカディア 米沢市林泉寺* 米沢市金池* 南陽市三間通* 高島町高島* 山形川西町上小松* 山形小国町岩井沢 山形小国町小国小坂町* 白鷹町黒鴨 白鷹町荒砥* 飯豊町椿* 震度 1 : 鶴岡市上山添* 鶴岡市下名川* 鶴岡市羽黒町* 遊佐町小原田 庄内町清川* 山形金山町中田 山形金山町金山* 山形市旅籠町* 長井市ままの上* 飯豊町上原*				
2020年09月12日11時47分	宮城県沖	38° 42.0' N	142° 13.9' E	41km	M4.3
2020年09月12日11時46分	宮城県沖	38° 42.9' N	142° 15.2' E	39km	M4.1
山形県	震度 1 : 村山市中央* 中山町長崎*				
2020年09月12日11時50分	宮城県沖	38° 41.7' N	142° 15.7' E	42km	M4.9
山形県	震度 1 : 酒田市飛鳥* 酒田市山田* 舟形町舟形* 天童市老野森* 東根市中央* 中山町長崎* 河北町谷地 尾花沢市若葉町* 米沢市林泉寺*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

複数の震源要素を併記しているものは、ほぼ同時刻に発生した地震のため震度の分離ができないことを示す。

各地の震度は山形県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

気象庁から配信する「緊急速報メール」

気象庁では、緊急地震速報^(※)、津波警報、気象等に関する特別警報、噴火に関する特別警報について、携帯電話事業者を介して、携帯電話ユーザーに緊急速報メールで配信しています。

気象庁から配信する「緊急速報メール」の内容

～被災のおそれのあるエリアの携帯電話に一斉配信～

◆緊急地震速報（警報）



◆気象等（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）の特別警報



◆大津波警報・津波警報



◆噴火に関する特別警報

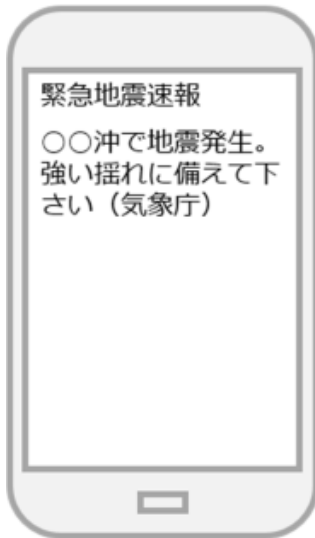


居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が
 ①発生あるいは切迫している場合（噴火警戒レベル5（避難））
 ②予想される場合（噴火警戒レベル4（避難準備））
 ③噴火警戒レベル未設定火山については、上記①②に相当する場合

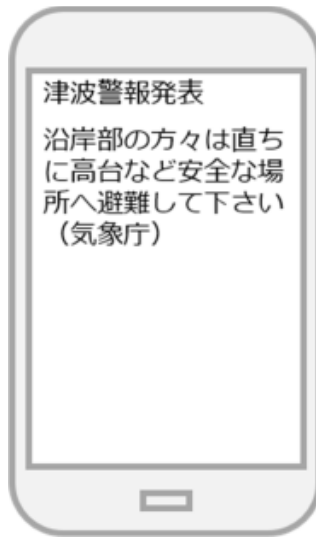
※ 震度5強以下を予想した緊急地震速報と津波警報は特別警報に該当しませんが、緊急速報メールで配信します。
 気象等に関する特別警報と噴火に関する特別警報は、対象市町村に初めて発表したときに配信します。

携帯電話等で緊急速報メールを受信した時は、専用の着信音の鳴動があり、下図のイメージ画像のように表示されます。（着信音は携帯電話事業者のホームページから確認できます）

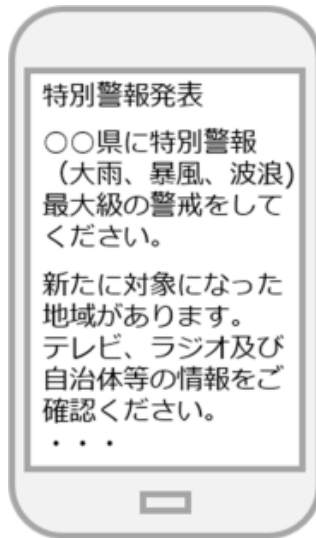
緊急地震速報（警報）
（配信イメージ）



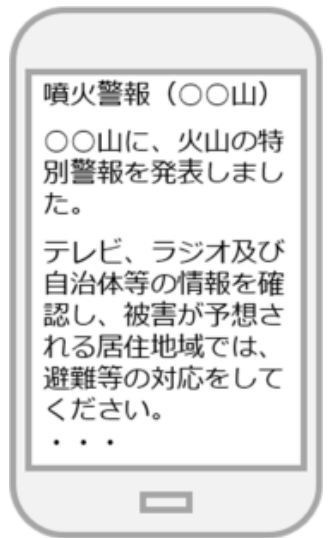
大津波警報・津波警報
（配信イメージ）



気象等に関する特別警報
（配信イメージ）



噴火に関する特別警報
（配信イメージ）



◎「緊急速報メール」を受信したときは

- ・ 落ち着いて、周囲の状況や自治体の避難情報を確認して、速やかに身の安全の確保に努めるなどしていただくようお願いします。

◎携帯電話で緊急速報メールを受信するには、使用している携帯電話が受信対応機種であること、受信のための設定が行われていることが必要です。

携帯電話各事業者のホームページでは、対応機種及び受信するための設定などの詳細についてご案内していますので、ご確認ください。